

【目標3】地域農業を担う農業経営者の育成支援

項目	事項	取組	現状及び課題	令和5年度目標	具体的な計画	令和5年度実績	評価	次年度の課題
1 経営の発展段階に応じた体系的な研修の充実・強化	1 農業経営の発展に必要な知識や技術に関する研修の充実・強化	農業生産性の向上や効率化に繋がる先進的な技術・知識を習得するための研修を農業総合試験場等との連携により実施します。 (担い手研修科)	農業総合試験場が開発した最新技術や各地で行われている先進的な取組事例等を、県内農業者に的確に伝えるため、農業改良普及課や生産者団体と連携して、今後も年間10回の生産高度化研修を維持していく必要がある。	・農業者生涯教育研修（生産高度化研修）の開催 5部門で計10講座／年	・農業改良普及課や農業総合試験場との連携強化により、現場の要望や先進的な試験研究成果等を的確に反映させる。 ・農業者団体等と連携して参加者の募集や研修の運営を図る。	・2月末までに、5部門で計10講座開催した（作物(7/4,8/3)、野菜(6/23,2/13)、花き(8/21,12/7)、果樹(9/25,10/2)、畜産(9/8,10/20)）。 ・全10講座の出席者数は805名で、定員890名に対して90.4%の達成率。 ・関係機関及び団体との連携により、概ね適切に実施できた。 ・次年度計画について、5部門10講座作成できる見込み。	A	・今年度同様、研修の実施
		農業者のニーズに対応した免許・資格取得に関する研修の充実を図ります。 (担い手研修科)	トラクター作業研修は申込者が多く、現在の11月以外にも3月頃の要望があることがわかった。 大特免許研修はコース変更により周回時間が延び効率が低下した	・トラクター作業研修を年2回実施する。	・トラクター作業研修を2回に増やし、希望の多い時期に合わせて開催する。 ・効率よく乗車できるよう大特免許研修研修の人数等を検討する。	・「トラクター作業研修」について、2回実施する計画ができた。 ・第1回(11/27・28)の受講申込を受け付けたところ、定員8名に対して26名の申し込みがあった。 ・第2回(3/4・5)は、11/1から受付を開始し、24名の申し込みがあった。 ・次年度計画として、大特免許研修は今年度同様、作業研修は1回当たりの定員を8名から増やし12名とした。	A	・アンケート等によるニーズの把握と対応
		農業経営の発展段階に応じた効果的な研修内容の企画立案や研修教材の開発を推進します。 (就農企画科)	就農直前から就農5年後程度の経験の少ない農業者に向けた研修への要望が多く普及課等でも活用できる研修教材が求められている。	・教材案の作成	・提供できる研修内容の検討 ・研修内容に関する要望把握	・新規就農者向けの教材として利用可能な動画教材を検討した結果、農業経営課が所有する女性農業者支援研修を収録した2本の動画を選定した。 ・この動画をJ A 愛知中央会から使用を希望するJ Aへ配信することが決まった。 ・J A 愛知中央会と新規就農者向けの研修等で利用できる動画教材の今後の拡充へ向けて意見交換した。	A	・新たな教材案の提案
	2「あいち農業経営塾」(旧:「愛知農業次世代リーダー塾」)の充実・強化	経営発展期に必要な農業経営力の向上に繋がるための体系的なカリキュラムとして講義内容の充実を図ります。 (就農企画科)	農業経営力向上の研修として開設から5年が経過しており受講者から高評価を受けているが、令和4年度の受講者数は13人で定員を下回っている。	・受講者数20人／年 ・経営計画作成率100%	・研修内容充実のため、R4年度の研修の反省点を踏まえて委託事業者と打ち合わせ、内容を決定。 ・チラシやHPにより研修の周知をはかるとともに普及課に対する受講者募集の協力依頼。	・農総試戦略統括室担当者や委託業者と協議しながら講義内容を決定した。 ・農業改良普及課長会議と普及課2ヶ所を訪れ受講生募集を働きかけた。また、昨年度までに研修を受講した0Bへ受講者の紹介を働きかけた。 ・受講者21名で開講したが2名が退講し、2月14日に19名が修了した。	B	・農業改良普及課および過去の受講者に受講生募集を働きかける。
	研修成果を確認するため、研修修了生の状況調査を実施します。 (就農企画科)	過去の修了者に対し経営状況調査を実施しており、平成30、31年度の修了者は8割以上で経営改善目標を達成。令和2年度以降は5年目まで調査する。	・経営計画進捗状況の把握	・H31年度修了者(3年目)は4月に、R2、R4年度修了者は2月にアンケート等により経営状況調査を実施。 ・計画どおりに進捗していない修了者に対してはあいち経営相談所の活用へ誘導。	・H31年度修了者8名に対し経営計画の進捗についてアンケートを実施したところ、8名全員に経営能力の向上が認められた。 ・2月28日に開催した修了生交流会でアンケートを実施し、問題の生じている修了生に「あいち農業経営相談所」を紹介した。	A	・修了生交流会の開催 ・アンケートの実施と「あいち農業経営相談所」への誘導	